

2026年1月

からし種

カトリック片瀬教会



新しい年に向けて

ブランチフィールド神父

夜中の暗闇のうちに 2025 年は去ってしまいます。ロンドンのビッグベンは毎年その通過をガランガランと告げます。世界の大都会は盛大な花火で新しい年を迎えます。でも疑問が湧き上ります。時間の通過を世界に知らせても何が変わりますか。戦争が続きます。貧困のうちにいる人々はますます貧しくなります。家がなくて仕事もない人々は、国を出るほかない。国と国との間に対立が続くかぎり、よりよい暮らしができるところに歓迎されることはない。こう考えると絶望しかない。

全世界は愛に飢えています。人々は自分が何を求めているか判らずに賑わいを目指して集まりますが、なかなか愛には巡り会わない。

これに対して、神の子でありながら馬小屋の貧しさの中で、その地方の羊飼いたちに祝われ、お生まれになった方のメッセージは愛のほかにはありません。ナザレトの村でマリアとヨセフの間に育てられたイエスは、罪人とともにヨハネの洗礼を受けられ、徹底的に人々と共にありました。罪人を食事に招き、パリサイ人に咎められました。当時の権威者たちに十字架に追い込まれ、二人の盜賊の間に死を迎えたイエスが流された血は、ほかならぬ神様が罪人の私たちを、そこまで愛しておられるという意味です。

私たちは、今の時代にも私たちと共におられるイエスのメッセージに忠実に従って生きる恵みが与えられています。私たちは教会共同体として信仰に生きる証しとなるように呼ばれています。

今年のみなさんのために祈ります。学校を卒業して仕事に就く若い人、逆に仕事を引退する人、結婚して新しい生活を始める人、様々なみなさんにその時々の神様の恵みがありますように。

2026年 1月度 教会委員会報告

開催日時：2025年12月14日(日) 12時40分～14時00分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、副委員長、典礼、監査、総務、

宣教司牧、福祉、広報、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、

シャルトル聖パウロ修道女会)、書記

※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

□ブランチ神父のお話し

喜びのあるクリスマスを迎える為に一人でも多くの人々が神様と出会える事が出来ますように準備をしましょう。神様とのつながりを新しく感じができるよう。知り合いに声をかけて喜びのうちに多くの皆様が来られますように。

□全体の報告および連絡事項

1. バザーの収益は25万円だった。そのうち15万円をセーブ・ザ・チルドレン緊急援助基金「ガザ緊急子ども支援」に送り、10万円を聖堂屋根の十字架改修に充てる。
2. 12月6日(土) ケンズ神父様プラチナ祝にブランチ神父はじめ参加。靈的花束を贈った。
3. 今後の予定
 - 1) 12月23日(火)16:00～17:00 モンタナ幼稚園、片瀬教会有志による、聖テレジア病院クリスマスキャロリング
 - 2) 12月24日(水) 降誕祭夜半ミサ 19:00
 - 3) 12月25日(木) 主の降誕ミサ 10:00 ミサ後、パーティ
※日頃教会に来られられない方をタクシーで送迎する。各コミュニティはそのような方を把握して連絡する。
 - 4) 1月1日(木)神の母聖マリア祝日 ミサ 11:00 ミサ後、新年のお祝いをかねて茶会。

□各部会からの報告

総務部

12月24、25日のミサ後のパーティはコミュニティと連携して準備中。

宣教司牧部

12月21日から教会史の講座(講師:柏渕さん)を開始。6回。

福祉部

- 1) ステラマリスの寄附品は20日に末吉町教会へ持つて行く。
- 2) 教区からの依頼でセブ島災害支援を行うことになった。

中高大青会

- 1) 11月24日(月)ザビエル祭に中学生と大学生2名が枇杷神父と一緒に行ってきた。
- 2) 聖堂入口のもみの木にクリスマス飾りつけをした。
- 3) 片瀬教会のクリスマスポスターを市民クリスマスに応募した方の作品で作成した。
- 4) 12月24日に教会学校と合同でクリスマス会を開催予定。

教会学校

- 1) 11月30日第5地区教会学校リーダー会より、子ども8名、大人8名で「聖年の扉」ツアーハンドベル（山手教会）に参加。山手教会、雪ノ下教会と交流。その後、港の見える丘公園等を散策。
- 2) 12月25日のミサで入祭はハンドベルで「しづけき」を演奏する。

一粒会

11月29日 大船教会で今年度最後の第5地区一粒会を行った。横浜教区の新司祭の誕生は2年後となる。

市内キリスト教連絡会

- 1) 12月13日に藤沢市民クリスマス 12:00～キャロリング、13:00～クリスマスミサ（カトリック藤沢教会）参加者196名
- 2) 1月24日(土) キリスト教一致のための合同祈祷会 14:00～15:00
於：六会日大前の藤沢北教会。

營繕及び營繕プロジェクト

- 1) 聖堂外装工事完成。
- 2) 道路側通の照明設置工事中。クリスマス迄に間に合わせる予定。
- 3) 物置と裏木戸にも照明を付けた。
- 4) 教会表示板を作業中。
- 5) 防犯カメラは、来年以降設置を検討するため、SECOMに見積を依頼した。

□検討・討議事項

1. 1月11日 成人の祝い。対象者3名。委員長よりお祝いの案内を出す。この日を子どものミサにする（4日は通常ミサ）。教会委員会は、1月18日に変更する。
2. 小田急片瀬江ノ島駅のナビタ契約を更新する。（2026年2月1日～2027年1月31日、税込165,000円）

3. 1月18日の教会委員会は、信徒大会への準備に入る。15日までに各部会は今年やったこと、やり残したこと、来年の予定をまとめて委員長迄提出。2月は、8日教会委員会、22日信徒大会の予定。
4. 新しい電話連絡網の配布を開始。間違いないか確認、修正必要な場合は、各コミュニティ代表者へ連絡のこと。代表者は、コミュニティ内に修正を周知させる。
5. 2026年からコミュニティ掃除当番の変更。(別途掲示板等で周知)。
6. 信徒会館の掃除を復活させる。第1、3主日の8時のミサの方が担当。
7. トイレの掃除は、ミサ後の掃除当番が行うようにする。
8. その他
アシストフォン(耳の遠い方の補助機器)の設置を検討する。

次回委員会開催 1月18日

新しい年を迎えて

教会委員長 宮國麻美

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は2025年に、長きに渡り委員長を務めて下さいました池尾前委員長から引き継ぎ教会委員長として働かせていただきました。昨年の出来事が月次ですが走馬灯の様に目に浮かびます。

希望の巡礼者の歌に勇気をもらい、皆様と共に、歩み始めた初めの一歩はどのようだったか、夢中で走ってきたので、このお正月休みにじっくりふりかえりをしたいと思います。

ただ言える事は、私はいつも一人ではなかった事、協力者、弁護者が共に歩んで下さった事に感謝いたします。そしていつも手をさしのべて下さっていた神様に感謝する共に、新しい年2026年もしっかりと神様の御旨に沿った事が出来ますようにと祈ります。また、ブランチ神父様の目指す祈りのある教会、そして、2025年のスローガンでありました「世代を超えて」を引き続き掲げて、片瀬教会の家族をより皆が結ばれている関係、忘れられている人が一人もいない共同体に一歩でも二歩でも近づけていけたらと考えております。私一人の力には限りがあります。小さなお力をこれからもお借りする事ができましたら幸いです。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

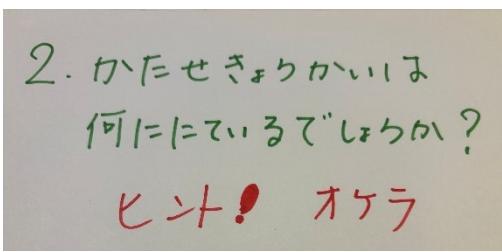
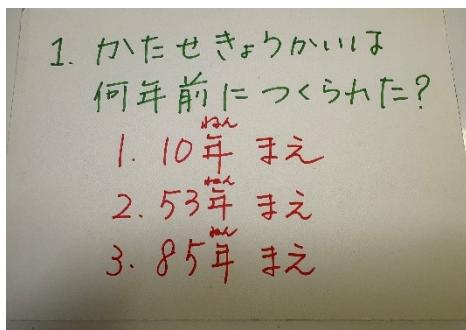
教会学校遠足「聖年の扉ツアーア」報告

教会学校リーダー 宮國麻美

2025年11月30日 第55地区教会学校リーダー会から、皆で一緒に山手教会に聖年の扉ツアーアに行きませんかというお誘いがありまして、子ども達と山手教会に巡礼に行ってまいりました。

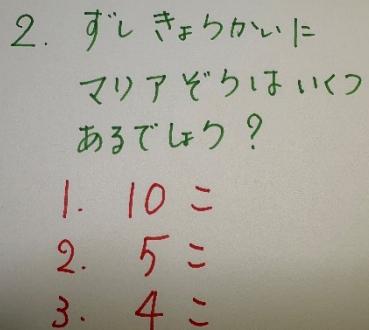
石川町の駅からの上り坂を歩いていると汗ばむほどの快晴。到着後すぐに、子ども達は隣接する幼稚園内で計画されていた交流会に保護者の皆様から離れて参加をしました。そこでは、それぞれの教会を紹介する事を目的とした、クイズを出題して交流を深めると共に各教会の事を学びました。それぞれの教会の子ども達が考えて出題をしました。

山手教会、雪ノ下教会、片瀬教会、逗子教会(片瀬の教会学校の逗子教会のお友達も参加してくれました。)に関するクイズは子ども達独自の発想でとても面白い問題が出題され笑いと共にみんなの頭に残った様です。我が片瀬教会の子ども達の柔らかい頭で考えぬかれたクイズが面白かったのでご紹介します。

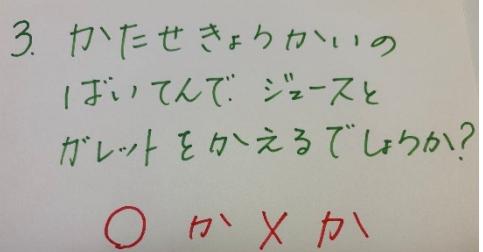


答え:(ヒント)オケラ→オテラ→お寺

答え:3番の85年前



答え:2番の5こ



答え:○

他の教会の子ども達が
いいな~と言っていました。

これらの各教会クイズが終わった後は鈴木神父様のギターの演奏で皆でアーメンハレルヤを合唱し、交流会は終了。その後お聖堂に向かい、信徒の皆様とご

ミサに与りました。

ごミサ終了後は信徒会館でお弁当を食べさせていただき、その後山手教会を後にして、外人墓地の中の横浜教区で働かれた神父様のお墓をおしえてもらい、祈り、港の見える丘公園へと向かいました。青空の中、遊んだり、おやつ交換をしてまたみんなで帰路につきました。巡礼によって沢山のお恵みをいただき、笑顔が絶えない一日となりました。各自最寄りの駅でお別れする時、淋しい気持ちになってしまったのは私だけでしょうか。昔、遠方に住んでいる従妹を訪ねては一日遊び、夕方帰らなければならなくて、急に淋しくなった感情を思い出しました。巡礼によって有限の罰が軽減されて心が幼子の様なったせいでしょうか。教会の大切な大切な家族と共に今日も過ごせて本当に幸せな一日だったからでしょう。改めて、こんなに大切と思える教会の家族がいる事に感謝をした次第です。

最後にお誘い下さった雪ノ下教会のリーダー、また、いつも片瀬の子ども達と沢山遊んで下さる藤沢教会のリーダーに感謝いたします。子ども達にも、片瀬教会の内にも外にもあなた達子ども達の信仰を大切に思って育もうとしている人達が沢山いる事を今日の楽しい思い出と共に覚えていて欲しいなと思いました。

聖年の年 2025 年も残すところわずかとなりましたが、この日の事は忘れないでしょう。



ミサ後参加者全員で



交流会の様子



公式マスコットのルーチェと



巡礼記念スタンプ

神学院ザビエル祭 2025—希望にみちあふれてーに参加して

中高大青会 丸田美緒

11月24日(祝)、中高大青会で神学院で開催された「ザビエル祭」に行ってきました。今年の3月に叙階された新司祭の枇杷晃平神父様がご一緒に帯同して下さりました。参加者は、中学生1名と大学生1名の2名でした。

この企画は、娘の愛梨が今年の夏に聖年の「青年の祝祭」によるローマへの日本巡礼団として参加をした事がきっかけとなりました。巡礼で教皇レオ14世の祈りに真近で参加をさせて頂き、教皇様の靈性を直に感じることが出来た事は、この上ない信仰の核に触れる大きな出来事であった様子でした。教皇様が100万人の若者を背に長い沈黙の中、たった1人の方“イエス様”だけを見てただ深く祈っていた、そのお姿が深く心に刺さり、ローマから戻った娘は「全てはイエス様が1番大事なんだって教皇様の背中が私たち若者に向けてそう仰っていたんだよ」と話してくれました。もう全て“そういう事なんだ”と確信しました。日本の巡礼団には他にも沢山の司祭が同行して下さり、それぞれの司祭の靈性の素晴らしさも沢山教えてくれました。沢山のみ言葉の勉強会をする事も大切だけれど、“イエス様を全靈で見られている方に接し、その方が見ておられるイエス様に自分も会わせて頂く”こんなに素晴らしい宣教はないのではないかと思いました。子供たちに素晴らしい靈性に沢山触れる体験をしてもらう。その事があり、真っ直ぐにイエス様と繋がっておられる新司祭の枇杷神父様にザビエル祭に子供たちと共に同行して頂くことになりました。

ザビエル祭では、願った以上に子供たちは溢れるほどの靈性に触れさせて頂く事が出来ました。

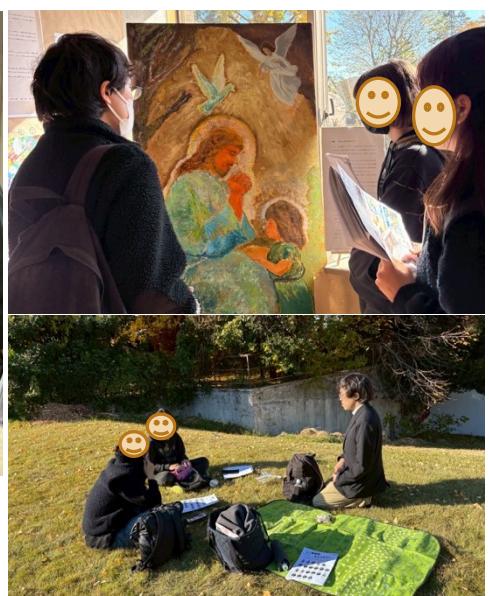
ミサ司式をして下さった“駐日ローマ教皇大使であるフランシスコ・エスカルランテ・モリーナ大司教”とお話をさせて頂き、子供たちとともに気さくに交流をして下さりました。お付でおられた目黒教会のアントニオ・カマチヨ神父様が助けて下さり、頑張って英語で会話をしました。お二方とも笑顔がイエス様そのままの愛に溢れたお姿が忘れられないお方でした。イエスのカリタス修道女会のシスター方のコンサートも聴くことが出来ました。とても綺麗なお声でシスター方が全靈で平和の大切さと神様への愛の尊さを歌で私たちに伝えて下さいました。シスター方が見ておられるイエス様を私たちも感じることが出来ました。その後もサインラリーという企画があり、沢山の神学生や指導司祭にサインをして頂きそれでお話をすると事が出来ましたが、どの神学生も個性豊かでとても魅力のある方たちばかりで、一瞬にして子供たちが親しみをもって積極的に交流をしており、是非片瀬教会にもいらして下さいと湘南のアピールをしておりました。指導司祭の長崎大教区の谷脇誠一郎神父様には、神父様の故郷の伊王島のお話を

して下さり、島では信者が100%の温かい環境のお話や最近まで主任司祭でいらっしゃった素敵なお写真や綺麗な海のお写真も見せて頂き、神父様の古里と一緒に思いを馳せ、最近初めて渋谷のスクランブル交差点を渡った等、若者のお話に合わせて下さりとても温かい素敵なお写真でした。

神学院長は物越しの柔らかいユニークなお言葉を交ぜ優しい笑顔で子供たちとお話しして下さり、最後の神学院の方全員によるお見送りの花道では、私たちグループが最後の人になる程、子供たちは話が尽きなく、沢山のお話をし神学生の方々のお見送りもとても温かく、“私たちが何を信じて何を大切にしているのか”が神学院には溢れおり、言葉ではなく心の奥深くで聖靈に満たされた思いでいっぱいになりました。子供たちも信仰の愛に満たされ、全てが素晴らしい体験だったと感動しておりました。

「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」(マタイ7-7)このみ言葉が頭の中で繰り返されておりました。求めた思い以上に溢れた聖靈に導かれた1日を過ごす事が出来、子供たちを導いてくださった神様の愛に感謝の思いでいっぱいでした。

そして何よりお忙しい中、子供たちと共に一緒に1日を過ごして下さった、枇杷神父様、本当にありがとうございました。神父様のまなざしで神学院を案内して下さった子供たちへの温かいご説明や小聖堂で4人で静かに祈った事、裏庭で日向ぼっこをしながら沢山子供たちと向き合いお話をして下さった事、全てが神父様の愛に包まれており、神父様の真っ直ぐにイエス様と繋がっておられるまなざしを子供たちも真近で感じ、枇杷神父様を通して温かいイエス様に会わせて頂けた事が、子供たちにとって何より幸せで貴重な体験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。これからも子供たちが沢山の神様の愛に触れる事が出来ますように神様どうかお導き下さい。



左から、モリーナ大司教、枇杷神父様、カマチヨ神父様

続・名優

パウロ 相澤雅人

今から 20 年前のことだ。江ノ島の目と鼻の先に建つ、古い小さな教会に、ひとりの老優がいた。老優は、12 月のクリスマス・シーズンに、老若男女総勢 50 名の出演者と 30 名を超える裏方によって演じられる芝居の主役であった。老優は、演出家の執拗なダメだしにも臆することなく、微笑みすら浮かべ、その様を存分に楽しんでいるようだった。2 週間のハードな稽古を経て幕が開いた。劇場と化した聖堂は満員の観客で埋め尽くされていた。ひとたび老優が舞台に立つや、観客を湧かせ、虜にした。

あるときは笑わせ、あるときは涙させる。観客ばかりか、裏方たちも涙を貰い、笑いをともにした。あの日、老優を中心とした出演者達の見事なアンサンブルによる舞台に、誰もが感動し、一体となった。遅れて来た 4 人目の博士アルタバルを演じた名優、ニュージーランドからやって来たひげの名優こそ、バリー・ケンズ。その名を私達は決して忘れない。忘れるもんか。

と書いたのが、今から 10 年前のことだ。司祭叙階 60 周年に寄稿した祝原稿。今度はプラチナ祝。司祭叙階 70 周年！しかし誰が何と言おうと、私にとっては、ケンズ神父様といえば聖劇の主役アルタバルなのだ。どうか重複することをお許し願いたい。またしても私の中にあの感動が蘇ってくる。

確かに無茶であった。苦茶であった。暴挙ともいえた。遅れに遅れて直前に台本が出来上がった。スタッフたちはたまつたもんではなかった。うま小屋やたき火を作る 美術部はすでに火を吹いていた。50 名を越す登場人物のコスチュームを用意する衣裳部は、すでにボロボロだった。焦り苛立つ演出家に、あの老優だけは優しくじっと見守ってくれた。

幕が開いた。誰もが泣いていた。老人アルタバルが、天使に導かれ天国への階段を上る時、それは最高潮に達した。たった 30 分のクリスマスペイジエントが人々の心を捉えて離さなかつた。満場の観客は涙がこぼれるのも構わず、肩寄せ合って拍手を送り続けた。劇場と化した片瀬の聖堂がかつてない感動と興奮のスタンディングオベイションで傾いでさえいた。教会が一つになるというのは、こういうことじゃないか。

本当に感謝です、ケンズ神父様。神父様と出会えて本当に良かった。プラチナ祝まことにおめでとうございます。

追記：12 月 6 日、新子安教会で司祭叙階 70 年記念ミサが開かれた。20 名の司祭たちと共にケンズ師が入堂した。その姿に目頭が熱くなつたのは私だけではなかつた。司祭たちから敬愛され、信徒たちから愛され続けてきた 94 歳の現役の神父。絶やさぬ微笑と愛に溢れた力強いメッセージ。梅村司教様の祝辞を受けて挨拶に立つた師の第一声は「光陰矢の如し」だった。そして司祭 70 年の道のりを振り返るにあたり、こう表現した。「70 年の司祭生活は三幕の劇です」と。プラボー！

2026年1月

☆教皇の意向：みことばによる祈り

みことばによる祈りが生活の糧となり、また私たちの共同体の希望の源となって、互いを大切にしながら使命に生きる教会を築くことができますように。

☆日本の教会の意向：平和と幸せ

新しい年の始めにあたり聖母の取り次ぎを願って祈ります。私たち一人ひとりが互いを思いやって平和と幸せを求め、心穏やかに過ごすことができますように。
(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ時間	行事・活動予定
1/1 木	主神の母聖マリア ※世界平和の日	11:00	ミサ後、お祝い
2 金	聖バジリオ 聖グレゴリオ（ナジアンズ）司教教会博士 記		
3 土			
4 日	主の公現	8:00 10:00	
5 月			
6 火			ヨハネ福音書を読む会 10:00
7 水			聖書と典礼を読む会 10:00
8 木			まりあ食堂
9 金		9:30	ミサ後、金曜講座
10 土			プレセビオ片付け及び祭壇を元にもどす。13時から
11 日	主の洗礼 祝	8:00 10:00	新成人祝福（10時ミサ）子供のミサ
12 月	（年間第1週）		
13 火			ヨハネ福音書を読む会 10:00
14 水			聖書と典礼を読む会 10:00
15 木			
16 金		9:30	ミサ後、金曜講座
17 土	聖アントニオ修道院長 記		キリスト教一致祈祷週間（～25日）
18 日	年間第2主日	8:00 10:00	2月度教会委員会/福祉バザー
19 月			
20 火			ヨハネ福音書を読む会 10:00
21 水	聖アグネスおとめ殉教者 記		聖書と典礼を読む会 10:00
22 木			
23 金		9:30	ミサ後、金曜講座
24 土	聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士 記		キリスト者一致のための合同祈祷会 日本基督教団藤沢北教会
25 日	年間第3主日（神のことばの主日） ※世界こども助け合いの日（献金）	8:00 10:00	かしぶちさんの今なら聞きたい教会史 第2回目
26 月	聖テモテ聖テトス		
27 火			ヨハネ福音書を読む会 10:00
28 水	聖トマス・アクイナス司祭教会博士 記		聖書と典礼を読む会 10:00
29 木			
30 金		9:30	ミサ後、金曜講座
31 土	聖ヨハネ・ボスコ司祭 記		

◆お知らせ◆

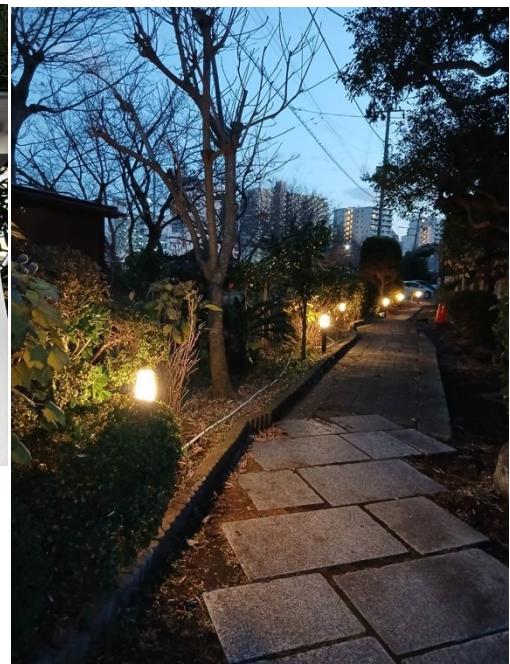
○1月 18日（日）16:00～カトリック茅ヶ崎教会にて、聖公会とカトリックによる「合同夕の礼拝」が行われます。毎年、キリスト教一致祈祷週間に恒例となっている、聖公会横浜教区主教様と梅村司教様の合同司式による集いです。皆様、是非ご参加ください。

○1月 24日（土）14:00～15:00 日本基督教団藤沢北教会（六会日大前）にて、藤沢市内キリスト教連絡会主催の「キリスト教一致のための合同祈祷会」が行われます。皆様、是非ご参加ください。

○各講座の開講日

- ・1月 6日（火）10:00～「ヨハネの福音書を読む会」
- ・1月 7日（水）10:00～「聖書と典礼を読む会」
- ・1月 9日（金）9時半ミサ後～
「金曜講座」…内容は、ヨハネの福音書第18章～です。

各講座ともに、新参加者大歓迎です。お待ちしています。



「明るい教会を目指して！」

看板・屋根の十字架も新しくなり、駐車場への道にも照明が！



2026年1月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035
藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>